

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所 [担当：澤村・西山]
TEL：0853-22-6772
FAX：0853-24-3342

令和6年度 病害虫発生予察情報 注意報第1号

令和6年7月 1日
島 根 県

果樹を加害するカメムシ類の発生量が多く、かき、なし、すももなどで被害が拡大する恐れがありますので注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努めるとともに、発生園では適切な防除対策を講ずるよう指導をお願いします。

記

- 1 病害虫名 果樹カメムシ類
- 2 発生地域 県内かき、なし、すもも栽培地帯
- 3 発生時期 7月中旬～
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発表の根拠
 - 1) 予察灯（出雲市）でのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの4月～6月までの累積誘殺数は2,922頭（平年値266.4頭）と平年に比べて多く推移している。6月第5半旬、6半旬の予察灯での3種カメムシ類の誘殺数は898頭（平年値25.1頭）、1,415頭（平年値76.8頭）と増加傾向にある（図1）。
 - 2) 予察灯における3種カメムシ類の4月～6月までの種類別誘殺数はチャバネアオカメムシ874頭（平年値170.4頭）、クサギカメムシ158頭（平年値20.0頭）、ツヤアオカメムシ1,889頭（平年値75.9頭）とチャバネアオカメムシ（図2）とツヤアオカメムシの割合が高い（図3）。
 - 3) チャバネアオカメムシ集合フェロモンのトラップ（出雲市）の4月～6月第5半旬までの累積誘殺数は265頭（平年値89.3頭）と平年に比べてやや多い（図4）。
 - 4) 7月中旬の巡回調査ではかきでの被害果率は0.9%（平年値0.1%）とやや多く、今後かきや無袋栽培のなしなどで被害が拡大する恐れがある。なお、有袋栽培のなしでも果実の肥大に伴い果実袋を通して加害される恐れがある。
 - 5) 1か月予報（6月27日広島地方气象台発表）によると、向こう1か月の気象は本種の発生を抑制する要因とはならず被害が増加する恐れがある。
 - 6) なし（無袋）の摘果作業はほぼ終わっている。かきでは摘果作業が行われているが、果実の被害の有無に注意する。
- 6 防除対策及び防除上の注意事項
 - 1) 山間地や山沿いの園ではカメムシ類の発生加害が多いので特に注意する。
 - 2) 薬剤の使用に当たっては、ラベルを確認し、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守する。
 - 3) 最新の農薬登録情報は、農林水産省農薬登録情報提供システム(<https://pesticide.maff.go.jp/>)で確認する。

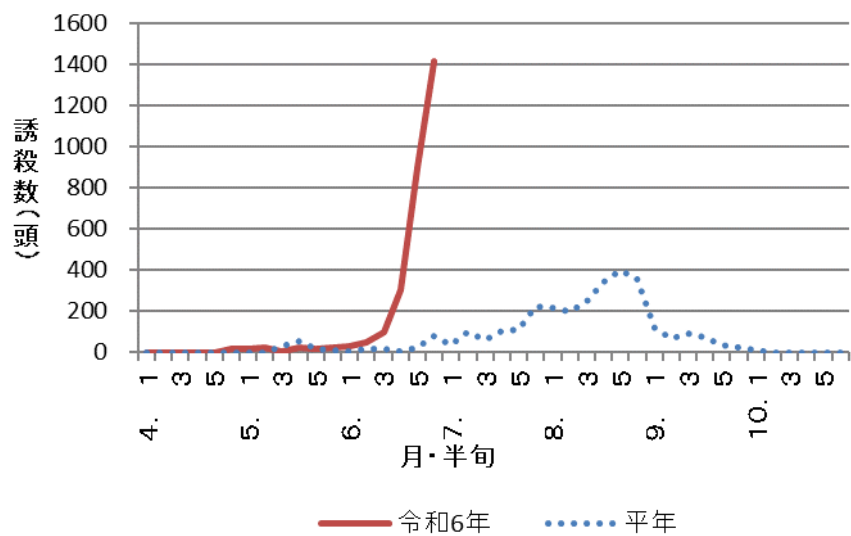


図1 予察灯における果樹カメムシ類3種の誘殺消長（令和6年）



図2 チャバネアオカメムシによる被害
○ は口針鞘（吸汁痕）

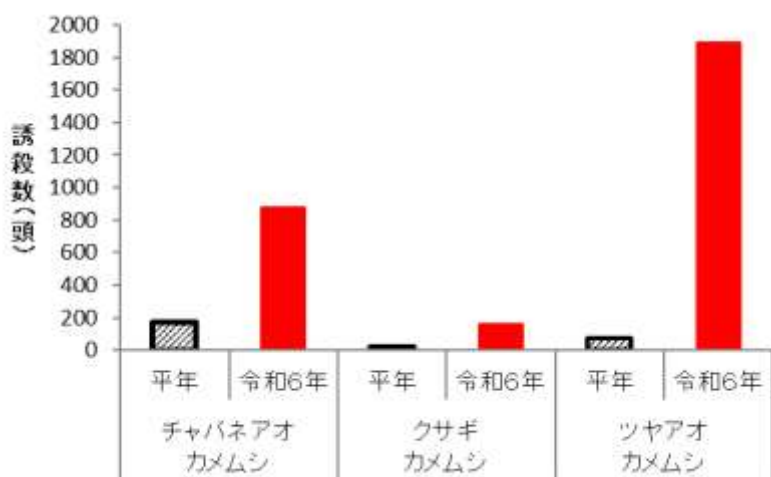


図3 果樹カメムシ類3種の種類別誘殺数
（4月第1半旬～6月第6半旬）

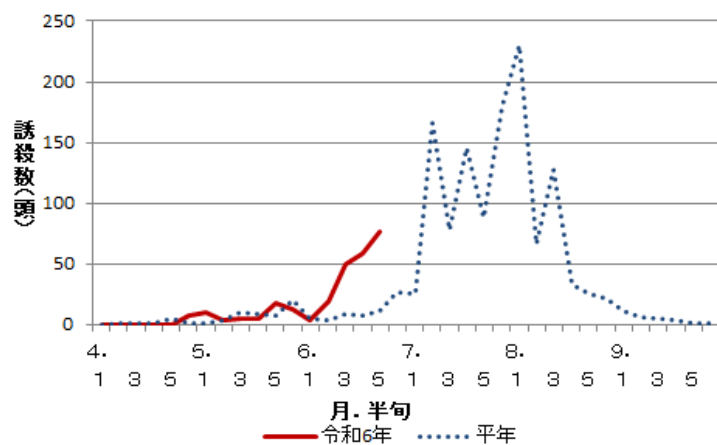


図4 チャバネアオカメムシ集合フェロモンにおける誘殺消長（令和6年）